

令和 6 年度 推薦入試合否判定基準

1. 選抜の基準

(1) 学業成績と勤怠状況

学業成績、勤怠状況が良好で、本校の教育を受けるに足る能力と適性を備えた者を選抜する。

学業成績良好とは

①成績概評の平均が 3.0 以上の者 ②学習記録に評定「1」を有しない者

勤怠状況良好とは

①3 年間の無届け欠席が 6 日以内の者

(2) 顕著な実績

ランク付けに関しては、「令和 6 年度 顕著な実績のランク表」を参照。

(3) その他（個性表現）

個性表現においては、申請した分野の実技を課す。

2. 選抜の方法

- ア 中学校長から提出された推薦入学志願書、調査書、推薦申請書、面接及び実技(個性表現のみ)の結果に基づき推薦入学予定者を決定する。
- イ 面接は、提出された推薦申請書に記載された自己表現、個性表現の申告内容その他の事項について実施する。

令和 6 年度 一般入試合否判定基準

1. 選抜の基準

学業成績、勤怠状況が良好で、本校の教育を受けるに足る能力と適性を備えた者を選抜する。

学業成績良好とは

学習記録に評定「1」を有しない者

勤怠状況良好とは（いずれも無届け・届出含む）

3 年間の欠席が 19 日以内の者

2. 選抜の方法

出身中学校長から提出された調査書、学力検査等の成績及び面接の結果を基にして選抜を行う。選抜は、調査書及び学力検査等の成績を資料として行い、調査書と学力検査等の成績との比重は 4.5 対 5.5 とする。